

# 令和3年5月に、正副議長をはじめ議会人事の改選を行いました 新しいスタートを切った4常任委員会を紹介します!

## 総務常任委員会

所掌事項：行財政経営、防災など

### 2年間のテーマ：市民が望む庁舎建て替えについて

#### 市民が望む庁舎建て替えをめざして

現在の多摩市役所庁舎は、本庁舎(B棟)が築50年を超え老朽化への対応が課題になっています。市では2029年度までの庁舎の建て替えを視野に入れ、将来を見据えた機能、庁舎のあり方について検討しています。

総務常任委員会では今期のテーマを「市民が望む庁舎建替について」とし、市民の皆さんの意見を伺いつつ、現状の把握や課題の抽出を行い、市民サービスの方向性、防災機能、DX(デジタルトランスフォーメーション)や環境への配慮等の視点で調査・検討を行っていきます。

#### 防災拠点としても求められる市庁舎

国土交通省が定める防災拠点に求められる施設のIs値(構造耐震指標)は一般建築物の1.5倍の「0.9以上」を目標としています。

近年、激甚化する風水害や予測される大地震に対応するためには、災害対策本部としての司令塔の機能が果たせる市庁舎が不可欠です。

また、コロナ禍における避難所運営など自然災害対策のありかたや、更なる防災・減災に向けて、今後の取組を強化していきたいと思います。



前列左から、渡辺委員長、藤條副委員長  
後列左から、いぢち委員、橋本委員、いじま委員、池田委員、折戸委員

#### 中小企業支援と次の50年に向けて

新型コロナウイルス感染症の影響で、私たちの社会生活は大きな変化を余儀なくされています。

市内中小事業者も大きな影響を受け、廃業、倒産などが懸念されています。

多摩市としても、国や東京都と連携し、様々な支援策を行ってきましたが、支援の狭間に陥っている事業者も少なくないと思います。支援策の検証や今後の取組を注視していきます。

多摩市は本年11月に市制施行50周年を迎えます。

非常事態の中での記念の年となりましたが、希望ある新たな50年の礎を築いていけるよう、全力で取組んでいきます。

## 総務分科会

### 評価対象事業：中小企業営業資金貸付あっせん事業

#### 事業を選んだ理由と評価の視点

新型コロナウイルスの感染拡大により、経済活動は自粛を求められ市内中小事業者はその煽りを大きく受けました。多摩市としても、国や東京都の支援の隙間で救いきれない事業者をサポートしようと市独自の支援策を講じましたが、当初、用意した支援の対象に当てはまる事業者が少なく、執行率が極端に低い状態が続いてしまいました。

こうした現象は多摩市に限ったことではなく東京都でも起こっており、中小企業が対象であった融資制度の預託金の一部が使われずに財政調整基金に積み戻され、今年5月下旬の補正予算編成時には21億円と想定されていた2021年度末の財政調整基金の残高は、2,837億円へと上方修正される見通しとなりました。

こうした問題点を踏まえ、もっと現場で困窮する方々にフィットした支援制度にならなかったのか。どういったきめ細かい支

援策が考えられたのかを振り返って検証する必要があります。

今後また同じような緊急事態が襲ってきた際には、即座に多摩市独自での支援事業を実施できるようにするとともに、市民により使い勝手のよい支援策となるよう、有効性の向上を図って参りたいと思います。

